

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.50	02	ホール・ギャラリー	08
今号の表紙	03	相談	09
HUGHUG子育て	04	図書館	10
きらめけ! えびなっ子ノ		新型コロナウイルス	
市民の広場	07	感染症関連情報	12

「広報えびな」の共通マークとルール

日・時・日にち 期 間 時 間 場 所 対 象 定 員
 内 容 講 師 費 用 持 持 物 他 任 期
 条 件 主 催 Eメール ホームページ 問 合 せ
 申 込 予 約 制 祝 日 を 除 く 休 日

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

文字の太さやバランスがむずかしかったです。
 大谷小学校 伊藤陽希さん(10歳)



写真

タイトル：ピンクの共演
 撮影場所：中央1丁目
 撮影者：横浜市在住
 橋本知幸さん



編集雑記

取材でよく耳にする「助け合い」の言葉は、海老名に住む皆さんの温かい人柄がよく表れているといつも感じます。今号のえび人は、地域サロンの発足に携わった方です。何かを始めるのは勇気がいること。私にもいつか始めようと先延ばしにしていた運動や勉強があります。挑戦しなければ、と背中を押された気持ちになります。(す)



助け合いが途切れないように

「高齢者の見守り」をコンセプトに地域サロン発足に尽力した岩切さん。「この地域で続いてきた助け合いの心を途切れさせない」という思いでした。100人以上いるボランティアさんたちにも同じような気持ちがあったから、わりとすんなりスタートしたかな。発足を振り返ります。お茶を飲みながら会話ができるサロンは地域住民の憩いの場です。「常連だった方のご家族が『晩年はサロンに行くのを楽しみにしていました』と、お礼に来てくださったことは心に強く残っています。「コロナ禍でサロンを開けなくなってからは、通っていた人やボランティアの人たちに絵手紙を送っているそう。今だからこそ心のつながりを大切にしていると話します。」

「住民同士がお互いに関心を持ち、支え合う地域をつくりていきたいです。周りで孤独死がないようにしたい」。多くの人と手を取り合い、心をつなぐ活動に情熱を注ぎます。



定期総会で話し合う

趣味の畑作業。季節ごとの収穫が楽しみ

今月のえび人

いわきりふみぞう
 岩切文三さん
 (上今泉在住・78歳)

上今泉地区社会福祉協議会「ふれあいかみいま」会長。趣味は畑作業と愛犬の散歩。江戸時代までたどって家系図を作ることが最近の楽しみ。鹿児島出身。